

# Mobility Express な コントローラの設定 Flexconnect VLAN マッピング

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[Flexconnect グループ レベルの VLAN マッピング](#)

[AP レベルの VLAN マッピング](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

## 概要

この資料は Access Point ( AP ) および flexconnect グループ レベルで flexconnect VLAN マッピングを設定するためにステップを記述したものです。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Cisco Mobility Express 配備および基本設定。
- WLC の Flexconnect 設定

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- ソフトウェア リリース 8.5 を実行する Cisco 2802 AP。
- flexconnect モードで動作する 2802 AP。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

**注:** モビリティ明かなワイヤレス LAN コントローラ ( WLC ) で、VLAN 関連するコンフィギュレーションは AP または flexconnect グループ レベルですることができます。異なる構成を持つ少数の AP の必要 flexconnect グループ レベルで設定を適用することを推奨しません。

# 設定

## Flexconnect グループ レベルの VLAN マッピング

明白なデフォルトflexgroup と呼ばれるモビリティでたった 1 flexconnect グループがあります。すべての AP はこのグループにデフォルトで追加されます。

ステップ 1: 最初に AP の VLAN タギング サポートを設定する必要があります。これはコマンド構成 flexconnect グループ group\_name VLAN イネーブルとすることができます。

For ex:

```
(Mobility_Express) >config flexconnect group default-flexgroup vlan enable
```

**注:** すべてのグループ レベル WLAN VLAN および AP の VLAN ACL マッピングを削除する VLAN サポートは同様にディセーブルにすることができます。これをするコマンドは構成 flexconnect グループ デフォルトflexgroup VLAN ディセーブルです。

呼び出します。VLAN サポートを追加するとき、AP のネイティブ VLAN は 1 にデフォルトで設定されます。これはコマンド構成 flexconnect グループ デフォルトflexgroup VLAN ネイティブ vlan\_id と変更することができます。

```
(Mobility_Express) >config flexconnect group default-flexgroup vlan native 10
```

ステップ 3. マッピングする VLAN を Service Set Identifier ( SSID ) に追加するために、追加します VLAN vlan\_id をこのコマンド構成 flexconnect グループ group\_name wlan VLAN wlan wlan\_id を使用する必要があります。

For example:

```
(Mobility_Express) >config flexconnect group default-flexgroup wlan-vlan wlan 2 add vlan 20
```

これは SSID 第 2. のための VLAN 20 のマッピングを追加します。、実行します AP\_name コマンド show ap 構成一般をマッピングが AP に押されるかどうか確認できます:

```
(Mobility_Express) >show ap config general AP00A3.8EFA.DC16
```

```
Cisco AP Identifier..... 4
Cisco AP Name..... AP00A3.8EFA.DC16
<output clipped>
Native Vlan Inheritance: ..... Group
FlexConnect Vlan mode :..... Enabled
Native ID :..... 1
WLAN 1 :..... 15 (Group-Specific)
WLAN 2 :..... 20 (Group-Specific) -----This shows that a
group specific config of VLAN 20 has been applied to WLAN 2.
```

ネイティブ VLAN およびグループ レベル WLAN-VLAN 設定はまた GUI と押することができます。ワイヤレス設定 > WLAN > Edit に WLAN > VLAN 及びファイアウォール ナビゲートできます。使用 VLAN タギング オプションはイメージに示すように YES に変更する必要があります。

# Edit WLAN



General    WLAN Security    **VLAN & Firewall**    Traffic Shaping

Client IP Management Network(Default) ▼

Use VLAN Tagging Yes ▼

Native VLAN ID 1

DHCP Scope None ▼    VLAN ID \* 30 ▼

Enable Firewall No ▼

VLAN and Firewall configuration apply to all WLANs configured with same VLAN

Apply

Cancel

WLAN-VLAN 設定を削除するためにコマンド構成 flexconnect グループ デフォルトflexgroup wlan VLAN wlan wlan\_id 削除を使用して下さい。

For ex:

```
(Mobility_Express) >config flexconnect group default-flexgroup wlan-vlan wlan 2 delete
```

ACL がある場合ステップ 4. ( オプションの ) はコマンド構成 flexconnect グループ デフォルト flexgroup VLAN とこれ特定のVLAN のために設定される必要がある追加します vlan\_id ACL 内部 aclname aclname 実行することができます。

For ex:

```
(Mobility_Express) >config flexconnect group default-flexgroup vlan add 30 acl acl_in acl_out
```

これはコマンドで示します flexconnect グループ 詳細 デフォルトflexgroup を確認することができます

```
(Mobility_Express) >show flexconnect group detail default-flexgroup
```

Number of AP's in Group: 3  
<output clipped>

```
Vlan :..... 30  
Ingress ACL :..... acl_in  
Egress ACL :..... acl_out
```

また ACL がコマンド show ap 構成一般 ap\_name との AP に押されるかどうか確認できます

```
(Mobility_Express) >show ap config general AP00A3.8EFA.DC16

Cisco AP Identifier..... 4
Cisco AP Name..... AP00A3.8EFA.DC16
<Output clipped>
```

Group VLAN ACL Mappings

```
Vlan :..... 30
Ingress ACL :..... acl_in
Egress ACL :..... acl_out
```

## AP レベルの VLAN マッピング

ステップ 1: 最初に AP の VLAN タギング サポートを設定する必要があります。これはコマンド構成 **ap flexconnect VLAN** によって有効にされる **ap\_name** とすることができます:

```
(Mobility_Express) >config ap flexconnect vlan enable APA0EC.F96C.E348
```

**override ap** オプションがイネーブルになったに設定される場合、このエラーを得ます:

```
Request failed: Override flag is enabled at the flexconnect group.
```

**override ap** オプション **overrides** はあらゆる AP 特定の設定およびそれ屈曲グループ構成だけ効果に運ぶようにします。これを固定するために、最初にコマンド構成 **flexconnect グループ デフォルト flexgroup VLAN** 上書きする **ap** デイセーブルの **override ap** オプションをデイセーブルにする必要があります。これがされれば AP 仕様構成をすることができます。

呼び出します。コマンド構成 **ap flexconnect VLAN ネイティブ vlan\_id ap\_name** とのネイティブ VLAN 構成を必要ならば修正できます。

For ex:

```
(Mobility_Express) >config ap flexconnect vlan native 1 APA0EC.F96C.E348
```

ステップ 3 コマンド構成 **ap flexconnect VLAN wlan wlan\_id vlan\_id ap** 名前で今 VLAN-WLAN マッピングを設定できます。

For ex:

```
(Mobility_Express) >config ap flexconnect vlan wlan 3 22 APA0EC.F96C.E348
```

AP 特定の VLAN 構成がコマンド **show ap 構成一般 ap\_name** との AP にマッピングされたことを確認できます。

For ex:

```
(Mobility_Express) >show ap config general APA0EC.F96C.E348
```

```
Cisco AP Identifier..... 3
Cisco AP Name..... APA0EC.F96C.E348
<output clipped>
FlexConnect Vlan mode :..... Enabled
Native ID :..... 1
WLAN 1 :..... 15 (Group-Specific)
WLAN 2 :..... 20 (Group-Specific)
WLAN 3 :..... 22 (AP-Specific) ----WLAN 3 config is AP
```

specific

この WLAN-VLAN マッピングはまたコマンド構成 `ap flexconnect VLAN` と取除きます `wlan wlan_id ap_name` を削除することができます。

For ex:

```
(Mobility_Express) >config ap flexconnect vlan remove wlan 3 APA0EC.F96C.E348
```

、AP レベルで設定する要件が VLAN ACL をそれある場合ステップ 4. ( オプションの ) はコマンド構成 `ap flexconnect VLAN` と追加します `wlan_id ACL 内部aclname aclname ap_name` を実行することができます。

For ex:

```
(Mobility_Express) >config ap flexconnect vlan add 22 acl acl_in acl_out APA0EC.F96C.E348
```

This can be verified with the `show ap config general` command as shown here:

```
(Mobility_Express) >show ap config general APA0EC.F96C.E348
```

```
Cisco AP Identifier..... 3
Cisco AP Name..... APA0EC.F96C.E348
<output clipped>
FlexConnect VLAN ACL Mappings
Vlan :..... 22
Ingress ACL :..... acl_in
Egress ACL :..... acl_out
```

## 確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

## トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はあります。